

(別紙様式)

(A3判横)

令和3年度 学校自己評価システムシート (県立川口東高等学校)

目指す学校像	生徒一人一人が主体的・対話的で深い学びを実感でき、全教職員が地域と協働し生徒の「より良く生きる力」を育む学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 確かな学力を育成し、生徒一人一人の個性と能力を伸長する。 3年間を見通したキャリア教育及び進路指導計画に基づき、生徒一人一人の進路希望を実現する。 「時を守り、場を清め、礼を正す」を生徒指導の指針とし、生徒とのコミュニケーションを大切に適切な生徒指導を行うとともに、特別活動等の活性化に取り組む。 保護者・中学校・地域社会との連携を密にし、地域に根ざした開かれた学校づくりを推進する。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	7名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (2月1日 現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
				次年度への課題と改善策			
1	【現状】 ○生徒は授業に落ち着いて取り組んでいる。 ○昨年度の調査によると、家庭学習時間は少し増加傾向にある。 【課題】 ○生徒の学習習慣を一層確立させ、その内容や質にも迫る必要がある。 ○『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて学校全体で授業改善に取り組む必要がある。	○生徒の家庭学習時間をより増加させるとともに、より主体的な学習を促す。 ○『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた学校全体での取り組みをさらに進める。	①各教科・分掌と連携を取り、週末課題やデジタル教材の活用等、教員が学習する状況を作る。 ②自主的に取り組んだ学習内容がどの程度なのか更に具体的にわかる様、アンケート内容を改善する。 ③公開授業、授業見学週間、研究協議による校内研修を充実させ、教科会を活性化させる。 ④「未来を拓く『学び』プロジェクト」研究チームを組織し、新規教材の開発や既存教材のアレンジを行い、各教科会においてその内容を共有する。	①アンケート(生徒)における「授業への取り組み」、「家庭学習」の項目の結果が前年度より向上したか。 ②アンケート結果が、検証可能な数値で表現できたか。 ③公開授業や授業見学、研究協議による校内研修が、各教科1回以上行ったか。 ④協調学習を実施した授業の回数が前年度(年間23回)より増加したか。	①勉強時間アンケートについて、全体としては「普段の平日・休日3時間以上」の項目で見られ。しかし、テスト前に関しては減少が見られた。 ②家庭学習の内容について、項目別のアンケートも追加した。どのような内容に時間をかけたのか、実態を知ることができた。 ③今年度は昨年度に続き、授業見学週間に教科の枠を超えて実施した。その結果、全ての教科について授業見学を行うことができる見込みである。 ④協調学習を実施した授業の回数は、昨年度の30回よりは多く行うことが出来なかった。	A	・各アンケートについては更に内容を精査し、教員や生徒自身へフィードバックし次に生かせる形にしていこう。 ・授業見学週間については引きつづきの形で実施し、学校全体の授業への意識を高めていきたい。 ・協調学習については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況をみながら、適切な形で実施できるよう学校として取組んでいく。
2	【現状】 ○生徒一人一人の進路希望の実現を目指した、3年間を見通した系統的な進路指導を行っている。 【課題】 ○進路希望実現の基盤となる、基礎学力の向上を図る必要がある。また、生徒が高い志を抱くように、進路意識の向上を図る必要がある。 ○3年間を通して、卒業後の進路を考える取り組みが必要である。	○進路行事を適切な時期に実施すること、また、より一層の充実を図ることにより、生徒の希望進路を実現する。 ○キャリア教育を充実させる。	①進路指導部・学年・教科が連携して進路行事を適切な時期に実施する。 ②進路相談など個別指導を充実させる。 ③実力テストの前後に生徒が課題や振り返りを行う。また、教員は分析を行い、指導に活用する。 ④本校生徒に適切なキャリアパスポートを整える。 ⑤体験的行事、HR、進路指導、課外活動等において、記録や振り返りを行う。	①②三年生の進路結果及び受験浪人を除く進路未決定者の割合が減少したか。 ③実力テストを有効に活用する体制をつくることができたか。 ④⑤キャリアパスポートを活用し、キャリア教育が計画的に実施されたか。	①②三年生の進路結果については、大学進学、短大、専門学校、就職の割合は、昨年度とほぼ同数であった。進路未決定者の割合についても、ほぼ同数であった。 ③実力テストの実施にあたり、事前課題を実施し、自己採点を行うなど、活用する体制はできている。 ④⑤各学年において、HR、進路指導、課外活動の各行事において、記録や振り返りを計画的に行い、キャリアパスポートの蓄積を行った。	A	・進路未決定生徒の減少のため、学年との連携を充実させ、必要な生徒に対し進路指導部が生徒面談を行うなどの、個別のサポートを充実させる必要がある。 ・生徒が実力テストを、より取り組みやすいように実施日等を検討していく。 ・行事だけでなく、1年間の振り返り等を行うとともに、将来の進路選択につながるよう、キャリアパスポートを充実させる必要がある。
3	【生徒指導の現状】 ○継続してきた生徒指導の課題を見つめ、必要に応じて変化、進化させながら行っている。いじめや特別指導等の緊急案件発生の際の対処、報告等の経験を活かし、集団としての対応は成熟度を増している。 【生徒指導の課題】 ○学校をより良くするためには全ての教員の協力を得て学校全体で生徒指導にあたる必要がある。問題行動は年々減ってきているので重点課題は交通マナー向上とネットトラブル防止の2点である。	○遅刻数の減少、特別指導件数の減少、交通事故及び交通マナーに関する苦情件数や働きかけの変化、進化させながら行っている。いじめや特別指導等の緊急案件発生の際の対処、報告等の経験を活かし、集団としての対応は成熟度を増している。 ○生徒指導における負担が一部の教員に偏らないように配慮し、協力を求めよう。	①年間を通して交通ルール遵守及びマナーの改善を行う。登下校時の交通事情や働きかけ協力員を全教員に呼びかけよう。講習会の機会を増やし、生徒の意識向上を図る。また、警察やPTAとも連携する。 ②ネットモラル向上にむけて専門家による講演会を利用し生徒への啓発活動を行う。 ③時代や世論の変化、様々な考え方を取り入れながら各学年の生徒指導を連携させ、学校全体としての指導体制をつくる。	①交通事故及び交通マナーに関する苦情の件数、問題行動件数を昨年度に比べ減らすことが出来たか。 ②スマートフォン等におけるトラブルの件数を昨年度に比べ減らすことが出来たか。 ③生徒指導部会で各学年の指導の体制や課題を毎回確認できたか、具体的な改善があったか。	①近年重点的に取り組んできた交通安全に関連する啓発から事故や苦情の件数の減少に繋がったところ軽微な交通事故の件数と苦情に関しては減少傾向にある。バイクに関する違反行為が数件あった。成年年齢引き下げに伴う様々なルール変更があり、引き続き風紀の向上と落ち着いた学校づくりを狙っていく。 ②ネットトラブルについては目に見えるところでは出てこなかったため引き続き啓発していく。 ③生徒指導部会の時間を活用し各学年の課題や改善について共有した。コロナ禍における特例や、校則の長期的な改革にも着手している。	B	・講演会の企画や登校時の呼びかけは継続して行う。苦情に関しては下校時のものも多いので登校時だけでなく下校時の交通マナーについても啓発していく。 ・講演会や継続した呼びかけを行い引き続き問題行動、ネットトラブルの抑止に努める。 ・生徒指導部の透明性、スピード、負担軽減の向上のための仕組み作りや役割分担を工夫していく。
4	【特別活動の現状】 ○学校行事に前向きにかかわろうとする生徒は以前よりも増えた。一方で積極的に活動する集団に隠れて行事に無関心な層も一定数おり、未だに減少するには至っていない。 【特別活動の課題】 ○学校行事や部活動に情性的に取り組むのではなく、周囲に良い影響を与える、積極的に取り組める生徒を育てていく必要がある。	○生徒が主体的に学校行事に参加し、活躍・成長する場を提供する。	①ポスターや学校ホームページの活用など、学校行事・特別活動の学校外へ向けPRの機会を工夫する。 ②学校説明会などにおいて、校内案内や行事紹介などの映像作成を行い、アンケート項目を新設する。 ③生徒総会や部長会において、生徒主体で学校生活に関するアイデアを出し合っていく。 ④新入生への部活動紹介を生徒会役員と各部活動が連携しながら企画する。	①学校行事などの生徒アンケートの結果において、「積極的に関わった」「企画が成功した」「満足した」などの回答が全生徒の5割を超えたか。 ②学校説明会のアンケートにおいて、次年度の改善につながる回答が得られたか。 ③生徒会予算や委員会活動報告について見直し、次年度への具体的な改善点を示すことができたか。 ④部活動紹介について、生徒会役員や各部活動が連携しながら企画することで、新入生の部活動加入率(64.4%)を維持できたか、あるいは向上したか。	①文化祭アンケートの結果で「企画が成功した」と答えた生徒が432名いて、全体の57%に達した。 ②生徒会独自のアンケート作成には至らなかったが、部活動や施設の撮影を行い、学校紹介用のPV作成を3回に渡り試みた。生徒が作成した校舎案内図の配布を試みたが、実施には至らなかった。課題は多く残るものの、今後につながる活動であった。 ③生徒総会では生徒から上がった意見を関係各所に問い合わせて見直し、次年度への具体的な改善点を示すことができた。また1年生の母校訪問は、コロナ禍の中、郵送ではあるが近況報告等、生徒が書いた文章、学校案内、広報誌を同封し各中学校へ郵送した。 ④新入生歓迎会では各部活で趣向を凝らした演出をしても、4月当初の新入生部活動加入率が81%となり、過去5年間で最高数字となった。	A	・アンケートを積極的に活用し、学校をよりよくするための改善点を話し合う基礎データとする。 ・学校説明会において部活動や施設などを紹介する動画をリニューアルさせる。 ・委員会活動のみではなく、様々な生徒会活動について生徒のアイデアを活かしながら検討していく。 ・部活動の魅力や学校説明会や新入生歓迎会などで発信し、積極的な勧誘活動を行う機会を設ける。
4	【現状】 ○今回の入試では定員を満たすことができたが、本校を第一志望として選ばれる学校になれないという現状があるようである。 ○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面は直接訪問による広報活動が難しい。 【課題】 ○年間を通じた計画的な広報の在り方をより一層工夫していく必要がある。	○3月卒業予定者進路希望状況調査の10月1日現在で「1.1倍」以上、令和4年度入学者選抜において実質倍率「1.1倍」以上を達成する。	①学校HPを随時更新するとともに、利用者の視点で改善する。また、広報誌や学校新聞を地域で配布するなど広報活動を積極的、戦略的に行う。 ②感染症対策と両立する学校説明会の在り方について、実施時期や内容等、工夫と改善を行う。また個別相談会を充実させ、きめの細かい対応をする。 ③地域の進学フェアに積極的に参加し、資料提供だけでなく、本校のPRをする。	①学校HPの更新を月当たり15回以上行ったか。レイアウト等の改善に利用者(生徒・保護者・中学生等)の意見を反映できたか。広報誌や学校新聞を広報に具体的に活用できたか。 ②学校説明会の参加者アンケートで満足度90%以上を達成できたか。 ③重点地域を決めて戦略的に広報できたか。	中学生の進路希望調査の結果は、10月1日現在「0.88倍」であり、12月15日現在では「0.87倍」であった。目標の達成はできなかった。 ①ホームページ更新は教職員に呼びかけ更新作業をお願いした。月15回の更新はコロナ禍の中、諸行事の中止や縮小のため実現できなかった。また1年生の母校訪問は、コロナ禍の中、郵送ではあるが近況報告等、生徒が書いた文章、学校案内、広報誌を同封し各中学校へ郵送した。 ②学校説明会の申し込み方法を変更し、ホームページからの申込みやコロナ禍で来校できない中学生に対し、授業動画配信など新たな試みも行った。また個別相談会では中学生に対し、きめの細かい対応ができた。学校説明会参加者アンケートでは、90%以上の中学生が「説明会はよかった」回答していた。 ③各種進学フェアには今まで参加していない越谷地区の進学フェアに初めて参加し、本校のPRを積極的にに行った。	B	・次年度はホームページ更新や学校説明会、進学フェア、中学校訪問、部活動見学等、本校の魅力伝える工夫を行う必要がある。学校説明会の実施時期や回数、内容等を見直すとともに、生徒募集の戦略的方法を検討する。

学校関係者評価
実施日 令和4年2月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>協調学習については、学習指導要領の核になる部分である。主体的な学びの実践を引き続きお願いしたい。教科を超えて授業見学を行うことは良い取組を含め、次年度以降もぜひ取り入れてほしい。アンケート結果が見える化されたことで、教員、生徒が共に手掛かりが掴めてきたと思う。もう一歩、生徒各自が自分を振り返り、次の課題発見につながるよ。</p> <p>キャリアパスポートの蓄積に力を注いでくださっていることがよくわかる。今後、生徒の進路選択につながる取組を期待したい。さらに振り返りの蓄積が適切になされるよう、指導していただきたい。</p> <p>自分の夢や希望、自分がなりたい人物像について討論するなどを、進路学習につなげる試みができないか。これらを通じて、自己肯定感や自信を持てる生徒を育ててほしい。</p> <p>成年年齢の引き下げについては、教育活動の様々な場面で必要になるかと思う。分掌や学年を超えて取り上げてみたいかがか。</p> <p>交通安全指導についてはマナーを含め向上している様子が見える。いじめ、情報モラル、ネットトラブル等については引き続き対応が必要である。</p> <p>川口東高校生と地元地域住民との連携の機会が作れればと考える。地域の諸課題について、高校生の皆さんに知ってもらえればと思う。コロナ禍の中、学校行事を工夫して実施できたことは評価したい。今後も工夫改善を重ね、学校行事を行われることを期待したい。</p> <p>アンケートを積極的に活用したり、生徒会が中心となつての挨拶運動等、生徒の主体性を大事にしており大いに評価できる。</p> <p>様々なチャンネルを用いて、学校のPRを行っている。越谷地区の進学フェアへの参加等、新たな取り組みを行っている。また「今日の川東」は頻繁に更新されていて学校の様子がよくわかる。学校の宣伝は、手間暇がかかるが、継続して取り組むことで、学校の理解が進むと思う。先生方のご苦勞に感謝申し上げます。</p>